



はじめに

富士宮市教育長 池谷眞徳

富士宮市では、市全体で子どもの読書活動の推進を図っていくため、平成18年に「富士宮市子ども読書活動推進計画」を策定しました。続いて平成24年には「第2次富士宮市子ども読書推進計画」を策定し、読書環境を整え、子どもが読書に親しむ機会を得られるように活動を行ってきました。その成果として、幼稚園、保育園、学校、図書館など様々な場所で、読書や読み聞かせに親しむ機会を得られるようになってきました。

一方、平成28年1月に「富士宮市子ども読書活動推進会議」で実施した家庭での読書に関するアンケートによると、子どもの家庭での読書習慣が、学年が上がるにつれ、薄らいでいる現状がうかがえます。また、電子メディアが身近にあり、大量の情報が子どもを取り巻いている現在、子どもたちが電子メディアにふりまわされることなく、良い本に出会える環境を整えていくことが、これからますます重要になってきています。

これらの成果と課題を踏まえ、このたび「第3次富士宮市子ども読書活動推進計画」を策定しました。本計画の柱である「子どもが読書できる場の整備」「子どもの本をはじめとする資料の充実」「子どもの本に関わる大人の連携、人材育成、理解促進」に基づき、子どもたちが良い本に出会うことができるように、取り組んでいきたいと思えます。

最後になりましたが、「第3次富士宮市子ども読書活動推進計画」の策定に御尽力いただきました富士宮市子ども読書推進会議委員の皆様をはじめ、御協力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

平成29年3月